

株主メモ

決算期	3月31日
定時株主総会	6月
株主確定基準日	3月31日 なお中間配当を実施するときの株主確定日は9月30日
1単元の株式数	100株
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部
証券コード	3167
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内1丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内1丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵送物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	 0120-782-031
公告方法	当社のホームページ(http://tokaiholdings.co.jp/ir/publicnotices/)に掲載します。 ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。

■ 住所変更、単元未満株式の買取のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

■ 未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。



ホームページのご案内

当社ホームページでは、個人投資家の皆様にTOKAIグループをより理解していただくため、当社グループの強みや事業内容、業績、株主優待など、お役に立つ情報をまとめています。



最新のお知らせは、こちらに記載しています。

個人投資家の皆様向けにまとめた情報は、こちらをご覧ください。当社の事業をわかりやすく解説したページがございます。

最新のお知らせは、こちら

<http://tokaiholdings.co.jp>

TOKAIホールディングス

検索

株主通信

第7期

2017年4月1日から
2018年3月31日まで



TOKAIホールディングス

証券コード：3167

株式会社TOKAIホールディングス

本社 〒420-0034 静岡県静岡市葵区常磐町2-6-8
東京本社 〒105-0022 東京都港区海岸1-9-1



Total Life Concierge

人々の暮らしに欠かせない商品・サービスをワンストップで提供。
「安心」「快適」「便利」な価値をさらに多くのお客様へ。
私たちはTLC(トータルライフコンシェルジュ)構想を推進します。



順調に顧客件数が増加。 計画通り増収減益ながらもIP20“JUMP”は順調にスタート。

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、第7期(2017年4月1日から2018年3月31日まで)の株主通信をお届けさせていただくにあたり、ご挨拶申し上げます。

経営統合以降、私たちが目指しているのは、様々なお客様の暮らしを総合的にかつぎめ細かにサポートする「TLC

(Total Life Concierge)」構想です。暮らしに関わるあらゆるサービスをワンストップ、ワンコントラクト、ワンコールセンターで提供し、お客様やその先の地域・社会・地球環境とのつながりを深めながら、人々の豊かな生活、地域社会の発展、地球環境保全に貢献してまいります。引き続き、この構想の実現に向けた取り組みを進めてまいります。

当期、当社グループは、4か年にわたる新たな中期経営計画「Innovation Plan 2020“JUMP”(IP20“JUMP”)」をスタートさせました。IP20“JUMP”では「守りから攻めの経営に」「M&Aの推進」「利益成長、ROE重視」「株主重視の姿勢は変わらない」という4つのキーメッセージに沿って、将来の持続的な成長を実現するための強固な事業基盤づくりを進めております。

当期は、各事業における顧客の獲得が順調に進み、年間の顧客純増数は前期の6倍強の4万件となり、さらに、CATV事業における2社のM&Aによる27万件を加えると、当期末における顧客件数は期首から31万件増加して288万件となりました。

業績面では、顧客基盤の拡大を進めるための投資を積極的に行ったことから、期首の想定通り、減益となったものの、売上高は顧客件数の増加により1,861億円(前期比4.2%増)と、増収となりました。

財務面については、自己資本比率が前期末から1.8ポイント向上して36.3%となったほか、有利子負債残高は前期末から31億円削減されて510億円となり、有利子負債/EBITDA倍率も前期の1.9倍の水準を維持しました。



代表取締役社長(CEO)

武田 謙吉

来期の取り組みについては、引き続き顧客基盤の拡大を推進することに加え、上海・台湾・ミャンマーに続いて第4の海外拠点づくりを進めていきます。

また、M&Aについては、群馬県下仁田町の都市ガス事業の譲り受けに関する契約を締結しました。この他にも26案件・1,900億円規模のM&A案件を検討しています。

当社グループにとって創立からのガスを中心としたエネルギー事業の時代が第1の波であり、情報通信事業に参入した1988年からが第2の波です。そして現在、IoTやAI、再生可能エネルギー、シェアリングエコノミー、仮想通貨、電気自動車など第4次産業革命とも呼ばれる第3の波が押し寄せてきています。

そのような環境の中で、情報通信技術を活用した「ABCIR

+S(アブサーズ)」（※次ページの「TOKAI TOPIC」参照）の取り組みを開始します。すでにTOKAIホールディングス内に専任組織として「次世代経営戦略本部」を設置しました。当本部を中心にグループ横断でABCIR+S活用モデルを検討し、新規事業の創出や顧客接点の高度化、戦略的な情報活用等を後押ししていく考えです。

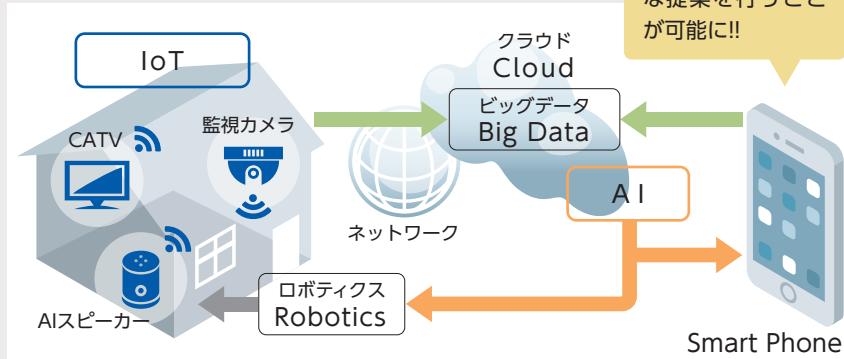
こうした取り組みと当期に拡大させた顧客基盤をもとに、来期は最高益の更新を見込んでいます。引き続きTLC構想に基づく取引の複数化、エリア展開による販路の拡大、M&Aや新たな事業分野への進出等、成長戦略を推進し、当社グループのさらなる飛躍を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも倍旧のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

第3の波「第4次産業革命」が着実に進行

IoT、ビッグデータ、AIなどを活かした最適な提案を最適なタイミングで!!

アップサース
Key word「ABCIR+S」
(A I + B ig Data + C loud + I oT + R obotics + S mart Phone)



AI:人工知能。人間が持っている認識や推論などの知的能力をコンピュータ上で実現する技術の総称。

Big Data:インターネットの普及やコンピュータの処理性能の向上に伴い生成される膨大なデータ群の事で、これを解析し、ビジネスや社会に有用な知見を得る。

Cloud:従来は手元のコンピュータで利用していたデータやソフトウェアをネットワーク経由で、サービスとして利用者に提供するもの。

IoT:「モノのインターネット」と呼ばれ、身の周りのあらゆるモノがインターネットにつながることで実現する、新たなサービスやビジネスモデル。

Robotics:ロボットに関する技術を研究する学問で、近年これをベースとする「ロボットによる業務自動化(RPA)」が盛んに研究・開発されている。

第3の波を捉え、さらなる成長に向けた「破壊的なイノベーション」

情報通信分野では新たな技術によるこれまでにないサービスが生まれ、実用化されようとしています。そのキーとなるのは、AI、ビッグデータ、クラウド、IoT、ロボティクスの5つの技術と、スマートフォンの普及・利用拡大です。

IoTにより情報を収集してビッグデータ化したものをクラウドに蓄積し、AIで分析して顧客に最適な提案をスマー

トフォンに提示するというのがABCIR+Sの利用イメージです。当社グループの最大の強みは「営業力」であり、これにABCIR+Sを活用した顧客接点の強化を実現することで、顧客とのディープリー・コネクティッド(Deeply Connected)な関係を構築することが、当社グループの成長戦略に欠かせないと考えています。

『営業力』×『ABCIR+S』を活用し、顧客との間で『ディープリー・コネクティッド』な関係を構築する。
Deeply Connected



積極的な先行投資により減益ながらも、収益基盤が拡大し増収

新規顧客の獲得、M&Aなどによる顧客基盤の拡大が寄与して増収

186,069 百万円 **4.2%増** (前期比)

売上高

当期の売上高は、継続取引顧客の増加およびTLC構想に基づく複数取引化の拡大、エリア展開による販路の拡大、新事業分野への進出、さらにCATV事業においてM&Aにより2社を子会社化したこと等によって、前期比で74億円(4.2%)増加の1,861億円となりました。



将来の成長を見据えた先行コストの増加による減益

10,971 百万円 **14.0%減** (前期比)

営業利益

営業利益については、顧客件数増加によって前期比で18億円の増益があったものの、一方で新規顧客獲得や解約防止、新サービス投入などの先行コスト他が前期比で37億円増加したこと等が響き、前期比で18億円(14.0%)減少の110億円となりました。



前期比では減益も、期首の予想に対しては上振れ

6,620 百万円 **9.8%減** (前期比)

親会社株主に
帰属する
当期純利益

親会社株主に帰属する当期純利益は、営業利益と同様、前期比で7億円(9.8%)減少して66億円となりました。しかし、期首の予想に対しては2億円(2.6%)の上振れとなっています。



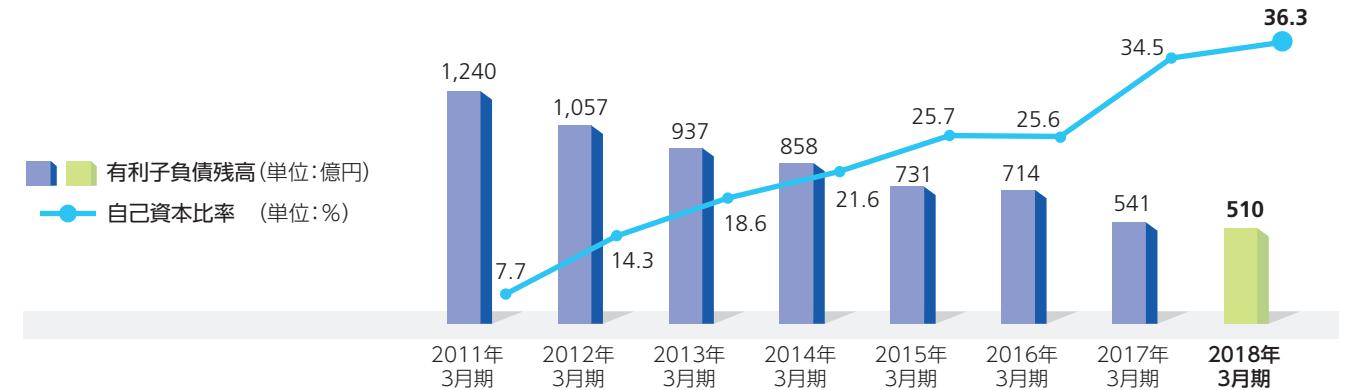
先行投資を積極展開しながらも健全な財務体質を堅持

有利子負債残高と自己資本比率の推移

積極的な成長投資を展開しつつ
財務面も強化

財務面については、親会社株主に帰属する当期純利益の計上に加えて、転換社債型新株予約権付社債の転換が進んだことによって、自己資本比率は前期末の34.5%から1.8ポイント向上して36.3%となりました。

また、顧客基盤拡大のための積極投資およびM&A投資によってフリーキャッシュフローが一時的に減少したものの、有利子負債残高は前期末の541億円から31億円削減されて510億円となりました。有利子負債/EBITDA倍率も前期の1.9倍の水準を維持しています。



業績予想

当期に将来の成長を見据えた先行コストを積極的に投入し、収益基盤の拡充を図りました。これが奏功し、来期は2期ぶりの最高益達成を見込んでいます。当期は減益となりましたが、そこからV字回復を果たし、IP20“JUMP”の最終年度の大きな目標に向けて、増益基調へと反転させていく予定です。

来期の業績予想 (売上高・利益:百万円/1株当たり当期純利益:円)

	2018年3月期実績	2019年3月期予想
売上高	186,069	195,600
営業利益	10,971	13,960
親会社株主に帰属する当期純利益 (1株当たり当期純利益)	6,620 (51.19)	7,920 (60.48)



ガス事業

LPガスで新たに2エリアに進出

LPガス事業においては、2015年からそれまでの営業エリアである静岡、関東以外へのエリア進出を開始し、以来、新規顧客の獲得力を向上させています。当期は、岡山と多治見（岐阜県）への進出を果たし、既存エリアも含めて、新たな顧客を47千件獲得することができました。これにより当期末のガス事業における顧客件

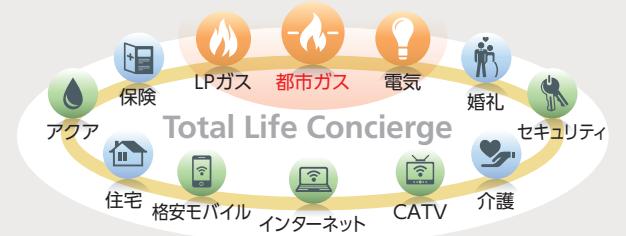
数は、661千件となりました。

都市ガス事業においては、2018年4月に下仁田町（群馬県）におけるガス事業の譲り受けに関する契約を締結し、2019年4月から正式に事業を引き継ぐ予定です。

なお、LPガス事業を含むガスおよび石油事業の業績は、売上高761億円（前期比3.7%増）、営業利益50億円（同28.5%減）となりました。

【都市ガス事業の広域エリア展開の第一歩】

進出したエリアでグループの商材を提供



情報通信事業

クラウド接続サービスの積極的展開

コンシューマー向けは、ブロードバンドサービスのうち光コラボは顧客件数を伸ばしたものの、大手携帯キャリアとの競争激化によりFTTH全体では苦戦いたしました。加えてADSL顧客等の解約により、ブロードバンド全体の顧客件数は39千件減少し755千件となりました。

法人向けについては、クラウド関連サービスが好調に推移しました。なかでもアマゾン ウェブ サービス (AWS*) では、多数の実績を背景とした信頼を有しており、今後、この強みを活かした事業展開を推進していきます。また、Amazonのクラウドベースの音声サービス「Amazon Alexa*」に対応した新サービスの提供を開始しました。

なお、情報通信事業の業績は、売上高509億円（前期比2.8%増）、営業利益19億円（同39.1%減）となりました。

*Amazon, Alexa, アマゾン ウェブ サービス, AWSは、米国その他の諸国における、Amazon.com,inc.またはその関連会社の商標です。

AWSネットワークング
コンピテンシー認定
国内初取得



「Amazon Alexa」対応
スキル開発支援サービスの
提供開始



顧客件数100万件を突破

放送・通信セット加入や大手携帯キャリアとの連携によるスマホセット割引など価格競争力の向上や、解約防止策の推進、番組の充実、光化の推進、超高速光回線サービスの提供など、価格、サービス両面での顧客満足度の向上に努めました。

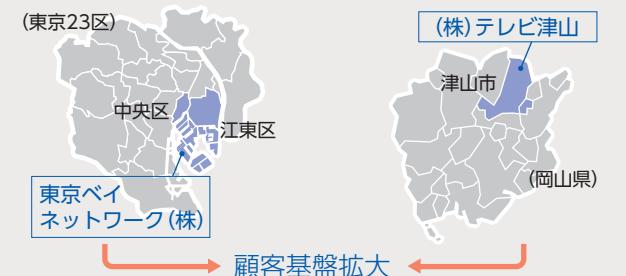
また、東京ベイネットワーク（株）および（株）テレビ津山を

M&Aにより連結子会社化しました。

これらの取り組みにより、当期は約30万件顧客を増やし、当期末におけるCATV事業の顧客件数は103万件に達しました。

なお、CATV事業の業績は、売上高284億円（前期比11.8%増）、営業利益30億円（同30.2%増）となりました。

【国内1都5県、顧客件数103万件】



TOKAI NEWS I

「ご当地ソングで、静岡を元気に！」プロジェクト

CATV事業から生まれた地方創生

文化・芸術活動を今以上に盛んにし、私たちの暮らす地域を見つめ直してほしい。そして、静岡を愛する人をもっともっと増やしたい——。そんな想いから結成された「静岡(愛)全力応援団」が中心となって活動する地方創生プロジェクトが、「ご当地ソングで、静岡を元気に！」プロジェクトです。

TOKAIケーブルネットワークの人気カラオケ番組「トコカラグランプリ」、初代年間グランドチャンピオンの太田克樹と、2代目年間グランドチャンピオンのカテリーンが歌うデュエットソング「思い出の交差点」。

この「思い出の交差点」を静岡のご当地ソングとして発信し、静岡“愛”の輪を静岡県全域に広げていくため、当社グループは活動しています。

どこか懐かしい雰囲気オリジナルバージョン以外にも、静岡を拠点に活動する5人組アイドルパフォーマンスユニット「ROSARIO+CROSS(ロザリオクロス)」が静岡の富士山やお茶をモチーフに振付をしたJ-POPバージョンを公開しています。

「思い出の交差点」特集サイトでは、各種ミュージックビデオをはじめ、プロジェクトの最新ニュース、静岡県内35市町の交差点に絡めたショップや観光情報、J-POPバージョンの振付講座、静岡県内で放送している「思い出の交差点」テレビCMなど、楽しいコンテンツを発信していますので、ぜひアクセスしてみてください。



ご当地ソングで静岡を元気に!!
静岡(愛)全力応援団

「思い出の交差点」はカラオケDAMIにて好評配信中。

「思い出の交差点」とは？

TOKAIグループが応援する歌手、太田克樹とカテリーンが歌う静岡市・浜松市・三島市を舞台にした静岡の新・定番ご当地ソング。郷愁を誘うことなく懐かしいデュエットソングで静岡を盛り上げていきます。

「思い出の交差点」特集サイト

<https://shizusong.jp>

思い出の交差点

TOKAI NEWS II

「健康経営」ワークライフバランスの取り組み

在宅勤務制度の導入

当社グループは、ワークライフバランスの実現、育児・介護と仕事の両立、女性の活躍、さらに健康増進への様々な取り組みなどを通じて、社員1人ひとりが働きやすく生き活きと活躍できる環境づくりに積極的に取り組んでいます。

その一環として、2018年4月1日より、介護または育児をしながら仕事をしている社員を対象とした、「在宅勤務制度」を導入しました。

通勤時間やストレスが軽減され、介護や育児をしながらも社員の能力が最大限に発揮される環境づくりを支援することで、業務の生産性向上が期待されます。

女性活躍推進への取り組み

当社グループでは、女性社員の活躍をより促進することを目的として「女性活躍推進プロジェクト」に取り組んでおります。女性社員の意欲促進やキャリア形成に関わる研修など「女性活躍の支援」、ワークライフバランスを整えるなど「働きやすい職場」のテーマを軸にプロジェクトを運営しています。

積立有給休暇制度の改定

在宅勤務制度の導入と合わせて、「積立有給休暇制度」の一部を改定しました。具体的には、介護のために積立有給休暇を利用する場合に限って、積立日数の上限を50日から100日に拡大するというものです。

健康経営と表彰について

当社グループは、2016年6月にCHO(Chief Health Officer、最高健康責任者)により健康経営宣言を行い、この宣言の元、健康経営に取り組んでおります。

今般これをより積極的に推進するため、「健康増進」、「安全衛生」、「働き方改革」の3つの柱からなる『TOKAIグループ健康経営大綱』を制定し、グループ横断的な体制で健康経営を推進する活動を行っております。例えば、昨年12月に発表した受動喫煙の防止、従業員の禁煙促進を目的とする、グループ全社での就業時間内禁煙もこの一環となります。

引き続き、従業員の健康増進活動を積極的に支援する健康経営を推進していきます。



2017年11月30日 取得

当社は、2017年11月日本政策投資銀行(DBJ)より健康格付融資を受け、格付結果は最高ランクの「従業員の健康配慮への取り組みが特に優れている」と評価されました。



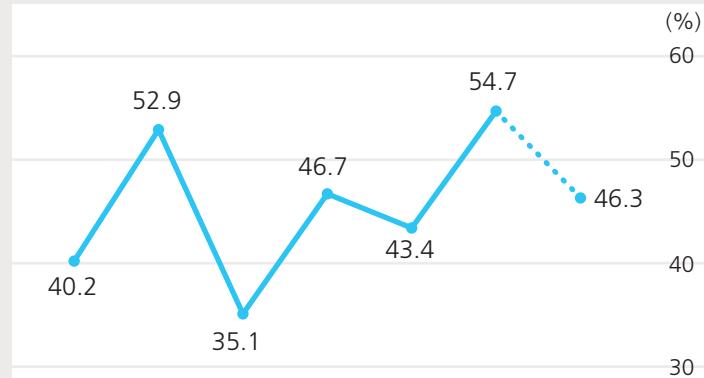
2018年2月20日 認定

当社は、経済産業省と日本健康会議が共同で実施する「健康経営優良法人 2018(大規模部門)」に認定されました。昨年に続き2年連続での認定となります。

配当の状況および株主様アンケートについて

期末配当は1株当たり14円としました。

■ 中間配当(円) ■ 期末配当(円)
■ 記念配当(円) ■ 配当予想(円) ● 配当性向(%)



2019年3月期以降も
連結純利益の成長に合わせて
増配を検討



株主様
アンケート
のお願い

今後のIR活動の参考にさせていただきたく、アンケートにご協力のほどお願い申し上げます。おひとり様一通のご回答とさせていただきます。2018年8月31日までに回答用ハガキに質問へのご回答をご記入いただき、ポストへご投函ください(切手は不要です)。なお、本アンケートは当社ディスクロージャーの充実以外の目的に利用することはありません。また、ご回答いただいた方には、下記の粗品をご用意しております。回答用ハガキにて、どちらか一方をお選びください。

オリジナルQUOカード(500円分)

QUOカードを希望された方の中から抽選で1,000名様にプレゼント(QUOカードの当選者の発表は、10月の発送をもって代えさせていただきます。)

TLCポイント1,000ポイント
(1,000円相当)

TLCポイントを希望された方には、もれなくプレゼント(TLCポイントのプレゼントは、10月を予定しています。)

株主優待品について

優待品は、お持ちの株式数に応じて下記のコースからお選びいただけます。

お申込期限 2018年8月31日

当社は、株主の皆様へ年に2回株主優待を実施しています。3月31日現在および9月30日現在の株主名簿に記載された1単元株(100株)以上ご所有の株主の皆様を対象としています。また、2017年9月期および2018年3月期の2回限定で、格安SIMサービス“LIBMO”を1年間無料でご利用いただける特別コースを設定しました。

別封にてご案内状(申込書、各コース共通の割引券を同封)を送付させていただきます。同封の申込書(ハガキ)にてご希望の商品をお申し込まさせていただきますようお願いいたします。

コース	100株~299株	300株~4,999株	5,000株以上
A コース A コース アクア商品 飲料水宅配サービス「おいしい水の宅配便」 「うるのん」の全商品12lボトル or 「うるのん」 「富士の天然水さらり」 500mlボトル	×1本 2,050円相当 ×12本	×2本 4,100円相当 ×24本	×4本 8,200円相当 ×48本
B コース QUOカード	500円分	1,500円分	2,500円分
C コース ヴォーシエルお食事券	1,000円分	3,000円分	5,000円分
D コース グループ会員サービス TLCポイント (https://tlc.tokai.jp)	1,000ポイント	2,000ポイント	4,000ポイント
特別コース 格安SIMサービス LIBMO (リブモ) (https://www.libmo.jp/)	音声通話 (10分かけ放題付き)	データ通信 (3GBプラン)	月額利用料金 1,880円/月
さらに! 各コース共通で グランディエール プケトーカイ 婚礼10%割引券 (割引上限 10万円) & ヴォーシエル お食事20%割引券 (12枚つづり)			

会社の概要 (2018年3月31日現在)

会社名	株式会社 TOKAI ホールディングス
設立	2011年 4月1日
資本金	140 億円
従業員連結	3,970名
事業内容	エネルギー事業、情報通信事業等を行う子会社等の経営管理およびそれに付帯又は関連する業務
証券コード	3167
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部

役員 (2018年6月27日現在)

取締役		監査役	
代表取締役社長(CEO)	鴫田 勝彦	常勤 監査役	村田 孝文
代表取締役副社長	真室 孝教	監査役(社外)	立石 健二
取締役常務執行役員	丸山 一洋	監査役(社外)	雨貝 二郎
取締役常務執行役員	溝口 英嗣	監査役(社外)	伊東 義雄
取締役(非常勤)	高橋 信吾		
取締役(非常勤)	小栗 勝男		
取締役(非常勤)	福田 安広		
取締役(非常勤)	鈴木 光速		
取締役(社外)	曾根 正弘		
取締役(社外)	後藤 正博		

TOKAIグループのご紹介

株式会社TOKAIホールディングス 静岡県静岡市葵区常盤町 2-6-8	株式会社TOKAIマネジメントサービス 静岡県静岡市葵区常盤町 2-6-8	東海造船運輸株式会社 静岡県焼津市小川 3899-4
株式会社TOKAI 静岡県静岡市葵区常盤町 2-6-8	株式会社いちばらコミュニティ・ネットワーク・テレビ 千葉県市原市五井中央東 2-23-18	トーカイシティサービス株式会社 静岡県静岡市葵区紺屋町 17-1
株式会社TOKAIコミュニケーションズ 静岡県静岡市葵区常盤町 2-6-8	厚木伊勢原ケーブルネットワーク株式会社 神奈川県厚木市岡田 3050	TOKAIライフプラス株式会社 静岡県静岡市葵区常盤町 2-6-8
東海ガス株式会社 静岡県焼津市塩津 74-3	株式会社イースト・コミュニケーションズ 千葉県千葉市緑区あすみが丘 1-20-1	株式会社エナジーライン 静岡県静岡市葵区常盤町 2-6-8
株式会社TOKAIケーブルネットワーク 静岡県沼津市寿町 8-28	エルシーブイ株式会社 長野県諏訪市大字四賀 821	株式会社TOKAIホームガス 東京都港区海岸1-9-1
	株式会社倉敷ケーブルテレビ 岡山県倉敷市中島 2661-1	拓開(上海)商貿有限公司 上海市黄浦区西藏中路 656号美華大楼 507室
	株式会社トコちゃんねる静岡 静岡県静岡市清水区中之郷 2-1-5	TOKAI MYANMAR COMPANY LIMITED 130 Shwegonedine Road, Bahan Tsp, Yangon, Myanmar(Rm.419,4th Floor, YUZANA Hotel)
	東京ベイネットワーク株式会社 東京都江東区塩浜2-2-10	有限会社大須賀ガスサービス
	株式会社テレビ津山 岡山県津山市小田中1308-9	株式会社ジョイネット
		株式会社ネットテクノロジー静岡

免責事項

本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

株式の状況

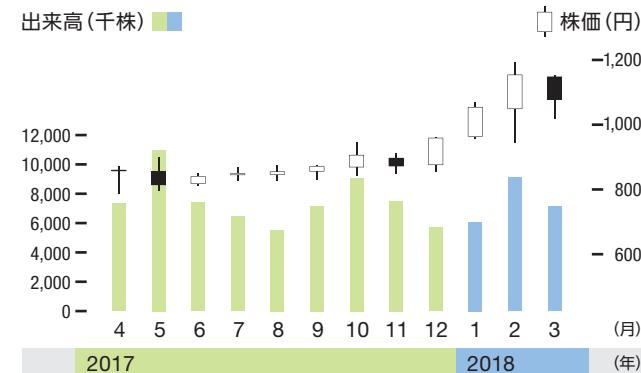
会社が発行する株式の総数	300,000,000株
発行済株式総数	139,679,977株
1単元株式数	100株
株主数	69,067名

大株主(上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	8,241,600	6.3
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	7,559,820	5.8
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	7,108,900	5.4
鈴与商事株式会社	5,799,700	4.4
東京海上日動火災保険株式会社	4,986,887	3.8
株式会社静岡銀行	4,065,527	3.1
三井住友信託銀行株式会社	3,816,000	2.9
TOKAI グループ従業員持株会	3,759,201	2.9
株式会社みずほ銀行	3,588,577	2.7
アストモスエネルギー株式会社	2,724,848	2.1

(注)自己株式(8,319,812株)は上記大株主及び持株比率の計算からは除いております。

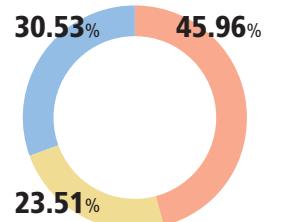
株価の推移



株式分布状況

所有者別分布状況

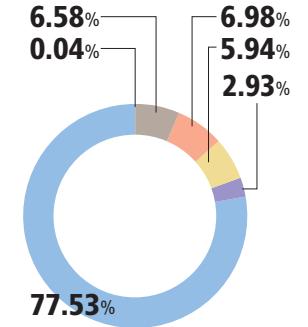
金融機関	60,372,671株
個人	30,888,321株
法人・その他	40,099,173株



※自己株式8,319,812株は除かれております。

所有株式数別分布状況

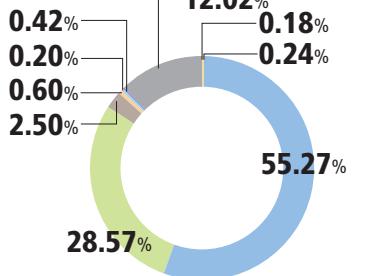
1単元未満	46,057株
1単元以上 10単元未満	8,645,947株
10単元以上 100単元未満	9,162,557株
100単元以上 500単元未満	7,805,010株
500単元以上 1,000単元未満	3,853,890株
1,000単元以上	101,846,704株



※自己株式8,319,812株は除かれております。

地域別株式数分布状況

北海道	235,426株
東北	308,930株
関東	72,613,480株
中部	37,532,562株
近畿	3,286,931株
中国	788,124株
四国	258,930株
九州・沖縄	550,711株
外国	15,785,071株



※自己株式8,319,812株は除かれております。